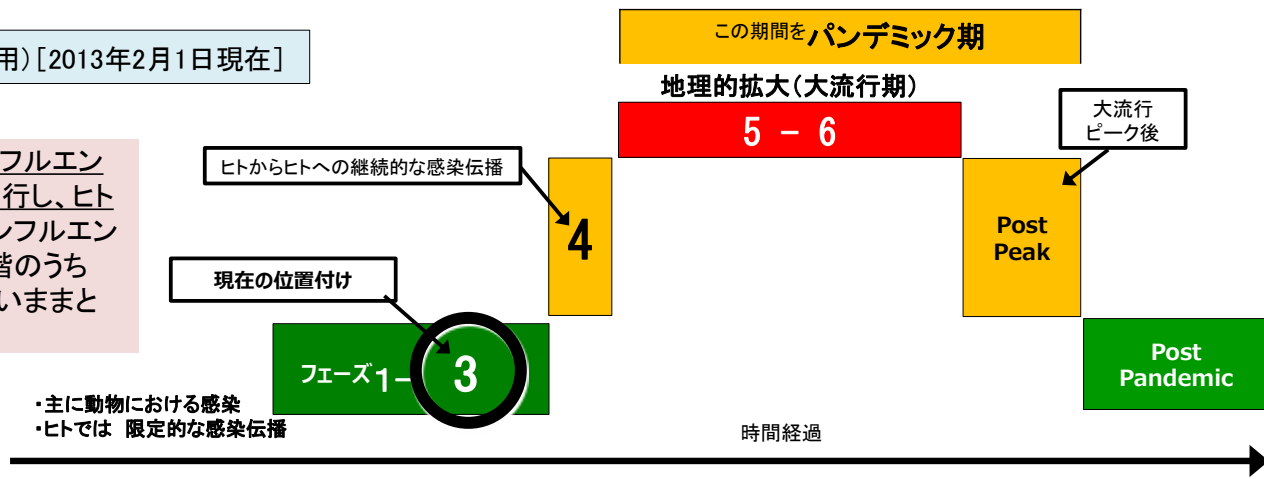


鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染について

- 2003年以降2013年2月1日までに、15カ国から615人の確定患者(うち364人が死亡。致死率59.1%)が報告されている。
 - ・ 2012年の1年間では、6カ国から32人の確定患者(うち20人が死亡)が報告された。
 - ・ 2013年に入り、カンボジアから、1月25日に3人(死亡2人)、同月29日に2人(死亡2人)の計5人の確定患者(死亡4人)が報告された(WHO本部は2月1日に公表)。この患者数は、2012年の同国での確定患者数3人(死亡3人)を既に超えたものである。
- 2003年以降、限定的なヒト-ヒト感染のみが確認されているが、地域感染(効率的なヒト-ヒト感染)は確認されていない。

現在のWHOパンデミック警報段階(鳥インフルエンザH5N1用)[2013年2月1日現在]

【参考】鳥インフルエンザA/H5N1は、2009年の新型インフルエンザA/H1N1の発生とは関係なく、独立して鳥で流行し、ヒトへの感染を続けている。このため、WHOの鳥インフルエンザA/H5N1によるパンデミック警報段階は、6段階のうち「3」に位置付けられ、現在も発生の危険性は高いままとされている。



ブタ由来インフルエンザ(変異型インフルエンザ)のヒトへの感染について

【1】ブタ由来インフルエンザA/H3N2患者の発生について

- 2011年7月、米国においてブタ由来インフルエンザA/H3N2感染患者が初めて報告され、2012年4月までには13人の感染患者が報告された。
- 米国では、2012年7月に再び感染患者が発生してから同年11月までに308人の感染患者(うち入院16人、死亡1人)が発生する大きなアウトブレイクとなった。(2012年7月以降2013年1月まで308人の感染患者は変更なし)
- 感染患者の多くは発症前にブタとの接触があったもので、一部で限定的なヒト-ヒト感染も確認されているが、地域感染(効率的なヒト-ヒト感染)は確認されていない。

ブタ由来インフルエンザ(変異型インフルエンザ)A/H3N2感染患者の発生状況は「参考2: 新型インフルエンザニュースレター@青森県」参照

【2】その他のブタ由来インフルエンザ感染患者の発生について

- 2012年8月以降、米国でブタ由来インフルエンザA/H1N2感染患者3人の、米国・カナダでブタ由来インフルエンザA/H1N1感染患者2人の発生がそれぞれ報告されている。

このうち、ブタ由来インフルエンザA/H3N2、A/H1N2については、2009年に発生した新型インフルエンザ(A/H1N1)の遺伝子の一部を獲得し、それがヒトへの感染能力を高めた可能性が示唆されている。

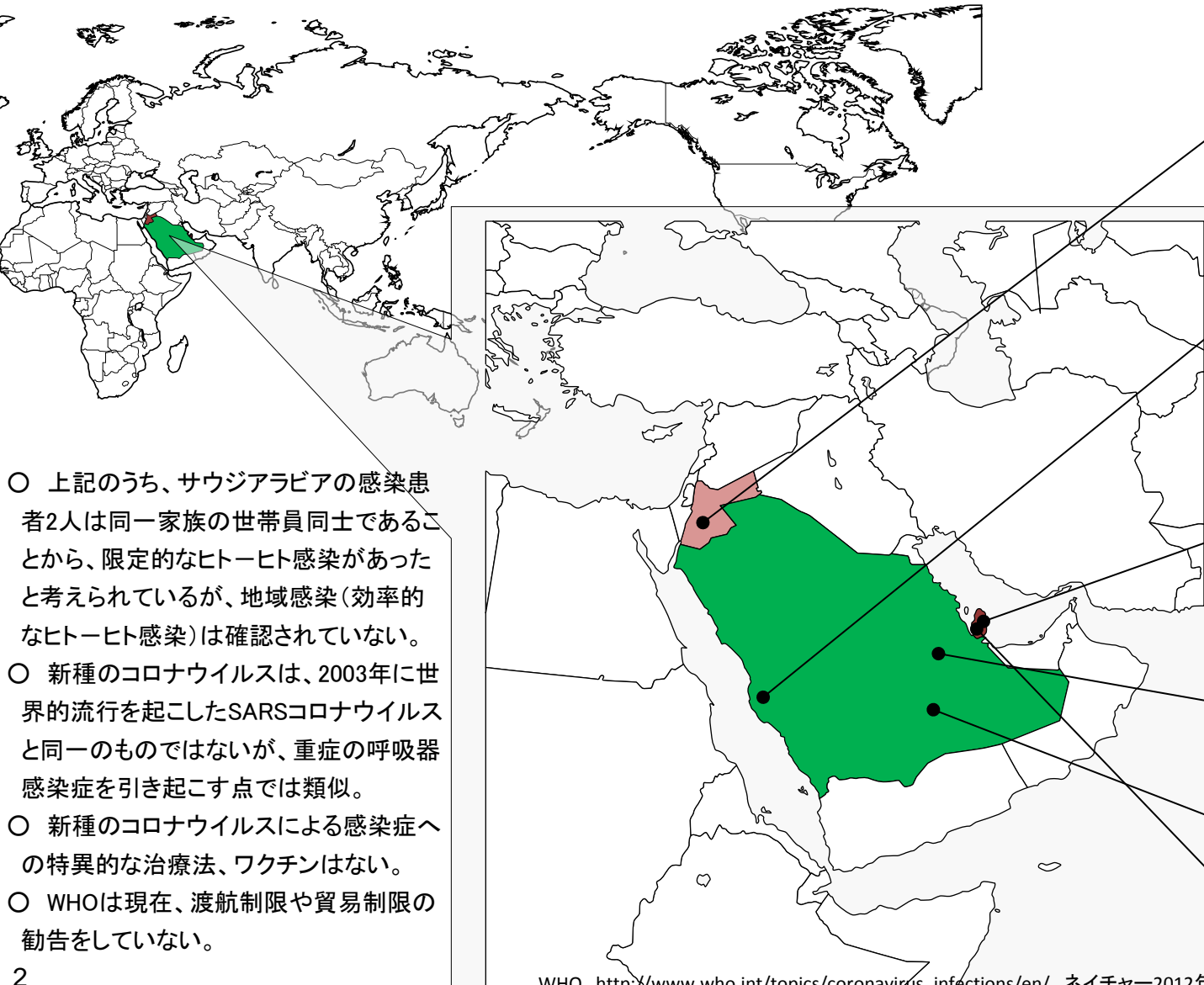
新種のコロナウイルスのヒトへの感染の状況について

- 2012年9月、この6月に死亡したサウジアラビア人から過去にヒトや動物から検出されることがない新種のコロナウイルスが確認された。また、サウジアラビアへの渡航歴がある、重症呼吸器症状を呈したカタール人からも同じウイルスが確認された。
- それ以降、2012年12月24日現在までに新種のコロナウイルスの感染患者は9人となった。

確定患者9人(うち死亡5人)

【内訳】

- ・Saudi Arabia 5人(3人)
- ・Qatar 2人(0人)
- ・Jordan 2人(2人)



24 April 2012 Jordan
首都アンマン市の病院で患者11人の呼吸器感染症のクラスター発生。当時はコロナウイルスに対する検査は陰性だったが、11月に新種のコロナウイルスに関して再検査し、死亡した2人の患者から陽性

June 2012 Saudi Arabia
ジッダ市のDr. Soliman Fakeeh病院に重症肺炎・急性腎不全で収容された60歳の男性が新種のコロナウイルスに感染していることを初めて確認。6月24日死亡

22 September 2012 Qatar
英国保健予防庁が、第2例目の確認を報告:9月3日に重症肺炎・急性腎不全を呈した、49歳のカタール人男性

4 November 2012 Saudi Arabia
新たな1人の患者の報告

23 November 2012 Saudi Arabia
患者4人の呼吸器感染症のクラスター発生。うち3人から感染確認。4人の患者のうち2人が死亡

23 November 2012 Qatar
新たな感染患者1人の確認

- 上記のうち、サウジアラビアの感染患者2人は同一家族の世帯員同士であることから、限定的なヒト-ヒト感染があったと考えられているが、地域感染(効率的なヒト-ヒト感染)は確認されていない。
- 新種のコロナウイルスは、2003年に世界的流行を起こしたSARSコロナウイルスと同一のものではないが、重症の呼吸器感染症を引き起こす点では類似。
- 新種のコロナウイルスによる感染症への特異的な治療法、ワクチンはない。
- WHOは現在、渡航制限や貿易制限の勧告をしていない。



● 国の新型インフルエンザ対策報告書(平成16年8月、P.5)

「(中略)新型インフルエンザウイルスがどのような過程を経てヒトの世界に侵入してくるかについても、十分に解明されていないが、三つの可能性が指摘されている。(中略)

・ 第三の可能性は、多くの研究室などで保存されている過去のヒトインフルエンザウイルス(特にH2N2)が、事故等による実験室感染や外部への漏出により、大流行へと進展するものである。(略)」

◆ 2005年3月26日

カナダ保健省(PHAC)は、WHOに対してカナダの地方研究所において、A/H2N2亜型インフルエンザウイルスが検出されたことを伝えた。

この検出されたH2N2亜型ウイルスは、1957年～1958年にヒトの間で流行した、一般に「アジアインフルエンザ」と呼ばれたパンデミックの初期にヒトの間に循環していたH2N2亜型ウイルスに類似。このときに感染の広がったH2N2亜型ウイルスは、完全にヒトヒト間の伝播が可能なものであった。このウイルスはヒトの間に循環し続けて、1968年に次のパンデミックを起こしたA/H3N2亜型のインフルエンザウイルスが出現するまでのあいだ、毎年流行を起こした。したがって、1968年以降に出生した人は、H2N2に対しては免疫が無いが、ごく弱い免疫しか持っていないと考えられる。

H2N2亜型のウイルス抗原は、現行の3価ワクチンには含まれていない。

この件に関与したカナダの実験室においては、直ちに適切なバイオセーフティ対策が取られ、呼吸器サーベイランスが対策として開始された。引き続きカナダ公衆衛生当局による調査により、このH2N2亜型ウイルスの出所が、カナダの実験室がCAP(College of American Pathologists: 米国臨床病理医協会)から2005年2月に受領した、A型インフルエンザおよびB型インフルエンザウイルスを含む一連の検査室の精度管理試験用検体(proficiency test)であることがさかのぼり判明した。CAPは毎年、様々な組み合わせの精度管理試験用検体を参加実験室に定期的に送付している。通常は、現在市中に循環中のa型インフルエンザウイルス(H3N2; H1N1)がこの精度管理試験に用いられる。このH2N2亜型ウイルスは、2004年10月に初めてCAPにより配布された。

◆ 2005年4月8日 CAPは、WHO、米国保健社会福祉省及び米国CDCに対して状況を報告。

その後の調査により、H2N2亜型ウイルスを含む同様の精度管理試験用検体が、18カ国の3747施設へ送付されたことが判明。これらの施設のうち61実験室は、米国及びカナダ以外の16カ国にある。米国保健社会福祉省は最近になって、他の精度管理試験提供機関がこのほかにもさらに、H2N2亜型を含んだ検体を米国内の実験室へ送っていることを知った。米国保健社会福祉省はこの検体の、速やかな破棄を確実に実施するための方策を講じている。

* 国と地域の一覧

バミューダ、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、フランス、ドイツ、香港(中国特別行政区)、イスラエル、イタリア、日本、レバノン、大韓民国(韓国)、メキシコ、サウジアラビア、シンガポール、台湾(中国)、英国(4月15日追加)、米国

◆ 2005年4月12日 WHOは、A/H2N2インフルエンザウイルスが世界18カ国の3747実験施設へ、偶発的に配布されたことを発表。

これまでのところ、CAPからのH2N2検体の配布に関連した、実験室勤務者のH2N2感染はまったく報告されていない。

◆ 2005年4月15日 WHOは、15カ国及び地域から、彼らが所持していたH2N2ウイルスを含む一連の試験用検体がすでに破棄されたとの確認報告。

◆ 2005年4月18日 WHOは、18カ国においてH2N2ウイルスを含む精度管理試験用検体を破棄したことを確認。

アメリカ合衆国内ではH2N2ウイルス検体の破棄が継続中であり、まもなく完了すると見られている。

新型インフルエンザ・ ニュースレター@青森県

31st JANUARY 2013 Vol 3 Issue02

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

- I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等
- II. インフルエンザの発生状況・研究報告など

I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等

◆1 WHO、カンボジア保健省は2013年1月25日に3人、1月29日に2人、それぞれ鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな確定患者を報告。

1月25日発表分

○ 1人目の患者は、プノンペン市に住む生後8ヶ月の男児で、1月8日に発症、病院で治療を受け、回復。患者は発症前に家禽への曝露がありました。

○ 2人目の患者は、パケオ州に住む15歳の女性で、1月11日に発症、民間診療所で治療を受けた後、同月17日には搬送先の病院で集中治療を受けたものの、21日に死亡。その村では家禽の死亡が発生し、患者は発症前に病鳥を調理しています。

○ 3人目の患者は、コンボンスプー州に住む35歳の男性で、1月13日に発症、地域保健センターに受診、21日にプノンペン市の病院に入院した後に死亡。その村では家禽の死亡が発生し、患者は発症前に病鳥を調理しています。↑

↑1月29日発表分

○ 1人目の患者は、コンボンスプー州に住む17ヶ月の女児で、1月13日に発症、民間診療所で治療を受けた後に病院に搬送され、28日に死亡。

○ 2人目の患者は、カンポット州に住む9歳の女児で、1月19日に発症、27日に入院、28日に死亡。

カンボジアの状況

カンボジアでは、2013年に入り、この1週間で2012年の確定患者数を上回る数の患者が報告され、2005年以降では26人の確定患者、うち23人が死亡しています。

<http://www.wpro.who.int/mediacentre/releases/2013/20130125/en/index.html>

<http://www.wpro.who.int/mediacentre/releases/2013/20130129/en/index.html>

◆2 WHOは、2013年1月16日、ヒト・動物に共通するインフルエンザの要約と評価を発表。

鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染

・ 2003年から2013年1月16日までに、15カ国から610人の確認患者が報告され、このうち360人が死亡。

○ 鳥インフルエンザA/H5N1の公衆衛生上のリスク評価：変更なし

変異型インフルエンザA/H3N2感染

・ 米国での新たな確認患者の報告はありません。

○ 変異型インフルエンザA/H3N2の公衆衛生上のリスク評価：更なる患者及び小さなクラスター（感染集団）の発生が予想され、発生状況の監視が必要

○ メキシコでは、家禽での鳥インフルエンザA/H7N2の発生に伴い、2人の感染患者が発生。主な症状は結膜炎を呈するような軽度のものとされています。

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

◆3 米国疾病管理センター（CDC）による、2011年8月～2013年1月19日の変異型インフルエンザA/H3N2患者状況は次表のとおりです。↑

報告した州	年次患者数	2011年 報告患者数	2012年～ 報告患者数
ハワイ			1
イリノイ			4
インディアナ		2	138
アイオワ		3	1
メイン		2	
メリーランド			12
ミシガン			6
ミネソタ			5
オハイオ			107
ペンシルバニア		3	11
ユタ			1
ウエストバージニア		2	3
ウイスコンシン			20
合計		12	309

前週(1月12日)までの状況からは変更なし

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-case-count.htm>

II. インフルエンザの発生状況・研究報告など

新種のコロナウイルスの族系、コウモリに幅広く分布

2012年に中東で9人が感染した新種のコロナウイルスに関係のあるコロナウイルスは、アフリカ及び欧州のコウモリで広く分布していることを報告。この知見は、新種のコロナウイルスがコウモリに由来するという証拠を補強するもので、コウモリの糞を肥料にしたり、コウモリを狩るというアフリカでの習慣が、コウモリからヒトへとコロナウイルスを感染させる役割の可能性を報告しています。

http://wwwnc.cdc.gov/eid/article/19/3/12-1503_article.htm

2009年のパンデミックによる感染率は、24%

19カ国での血清学的研究分析では、2009年のパンデミックによる新型インフルエンザA/H1N1感染者は、人口の約24%となるという報告。この数字は、米国の保健当局が評価した数字より高いものでした。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/irv.12074/abstract;jsessionid=906D9C4F2C840B34421DFE5F17AFADBE.d02t01>